

4年	科目	応用物理	講義	通年	担当	勝山 駒
制御情報工学科		Applied Physics	必修	2学修単位(講義60+自 学自習30)		KAT K

授業の概要

前期は、1-3年で履修した物理学および工業力学を応用して、重要な物理現象のいくつかを講義と実験の両面から学ぶ。同時に、実験データの
も学ぶ。後期は熱力学の基礎的な知識および、熱力学第1法則と第2法則を学ぶ。

本校学習・教育目標(本科のみ)	目標	説明
	○	1
	2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力
	3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力
	4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力
	5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢

プログラム学習・教育目標
(プログラム対象科目のみ)

B. 数学、自然科学及び情報技術を応用し、活用する能力を備え、社会の要求にこ

実践指針 (専攻科のみ)

授業目標

- 物理現象について正しく理解し、実験を正確に行い、データを正しく解析し、結果を適切な有効数字で、かつ、グラフを用いて表現することができる。事柄について考察し、簡潔にまとめることができる。
- 熱力学の基礎を理解し、代表的な熱現象に関して熱力学第1・第2法則および関連法則を用いて熱力学的諸量を見積ることができる。

授業計画

第1回	ガイダンス	ガイダンス, 安全な実験
第2回	誤差と有効数字1	誤差論
第3回	誤差と有効数字2	ノギスとマイクロメータを使った測定基礎と実習
第4回	振動	強制振動と共振の実験と解析
第5回	光の回折	光の回折(講義)とレーザー光を用いた回折の基礎実験
第6回	応用物理実験解説1	光の粒子性とプランク定数
第7回	応用物理実験解説2	荷電粒子の運動(電子の比電荷と電気抵抗の温度係数)
第8回	前期中間試験	
第9回	応用物理実験1	電気抵抗の温度係数
第10回	応用物理実験2	電子の比電荷
第11回	放射線	放射線の基礎知識
第12回	応用物理実験3	光電効果
第13回	応用物理実験4	水素原子のスペクトル
第14回	応用物理実験5	A. 放射線の測定 B. 光速度の測定 C. 万有引力の測定 D. 光の回折 より1テーマ
	前期末試験	
第15回	前期のまとめ	
第16回	熱エネルギー(1)	熱運動・温度・熱容量・熱量保存則
第17回	熱エネルギー(2)	潜熱・熱膨張・熱伝導
第18回	熱エネルギー(3)	熱エネルギーのまとめと確認テスト(1)
第19回	気体(1)	理想気体の状態方程式
第20回	気体(2)	気体の分子運動論
第21回	気体(3)	気体のする仕事
第22回	気体(4)	熱エネルギーと気体のまとめ
第23回	後期中間試験	
第24回	熱力学(1)	熱力学第1法則と内部エネルギー
第25回	熱力学(2)	気体の状態変化
第26回	熱力学(3)	熱力学第1法則のまとめと確認テスト(2)
第27回	熱力学(4)	熱機関・効率・エアコンの成績係数
第28回	熱力学(5)	熱力学第2法則
第29回	熱力学(6)	エントロピー
	学年末試験	
第30回	後期のまとめ	

評価方法
と基準

前期は、中間試験と実験レポートを合わせて50%、期末試験を50%の割合で、100点を満点として評価する。後期は定期試験と
[各テストの合計]÷[満点の合計]×100で評価する。前後期の評価の平均が60点に達した者を合格とする。なお、後期の各テ
かった者には、達成度を確認するための課題を与え、成果が十分とみなされた場合は、その試験について満点の60%を上限とし

教科書等	前期はテキスト配布。後期は初歩から学ぶ基礎物理学「熱・波動」(2年物理で使用した教科書)の熱の部分を使用。
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。

学校シラバス

智男(前後期)
佳明(前期)

SUYAMA Tomoo
OMA Yoshiaki

解析や誤差の扱いについて

たえる姿勢

きる。また、実験に関連した

確認テストを評価対象とし、
ストが満点の60%に満たな
て加点することがある。

